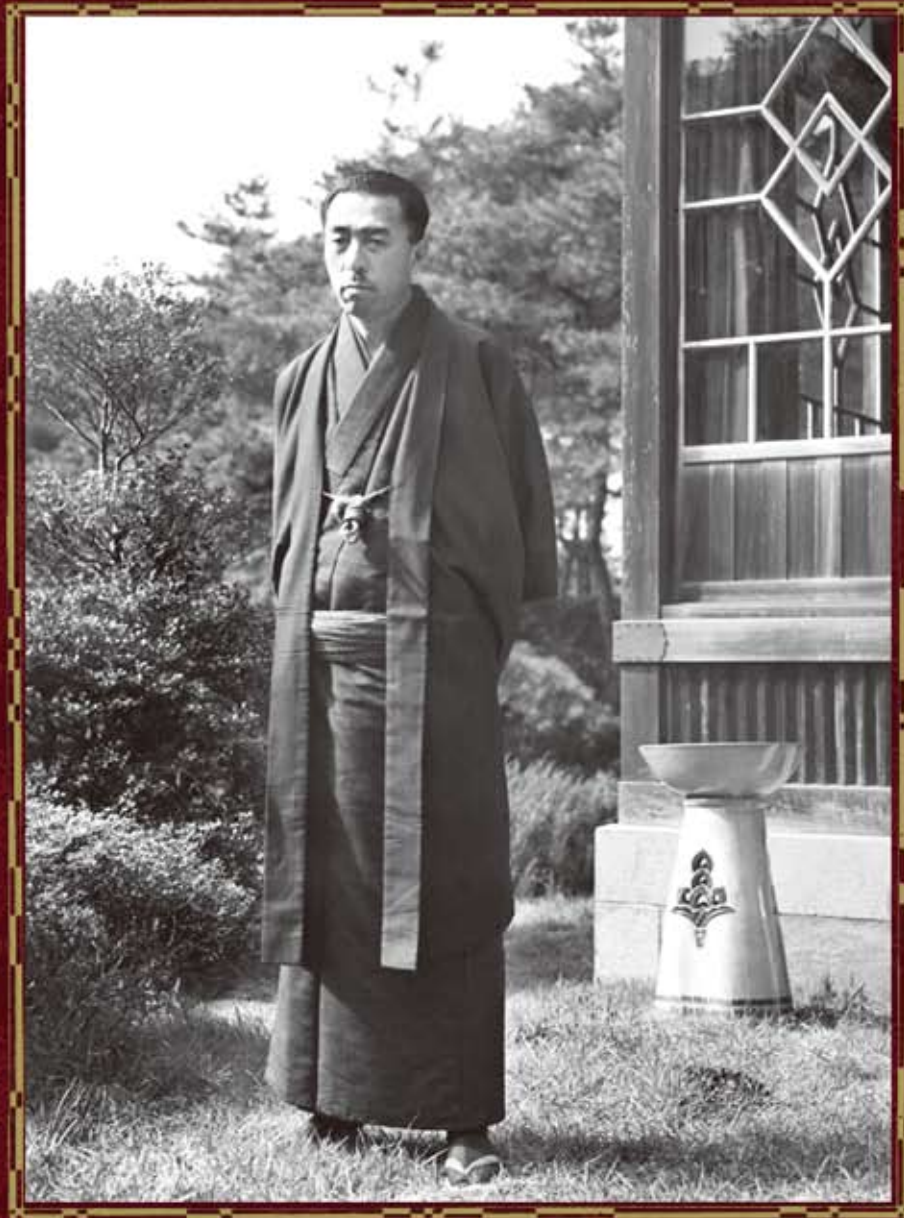


「荻外荘」と近衛文麿

平成28年

4月29日(金・祝) ～ 5月29日(日)



「荻外荘」の庭に立つ近衛文麿 共同通信社提供

イベント情報

申込不要

◆直接会場へお越しください。(当日先着順)

講演会「近衛ファミリーの昭和」

日時：5月6日(金)午後6時～午後7時45分

講師：工藤美代子氏(ノンフィクション作家)

定員：500名

会場：セシオン杉並ホール(梅里1-22-32)

講演会「荻外荘」の建築的な価値と評価

日時：5月22日(日)午後2時～午後4時

講師：山田幸正氏(首都大学東京教授)

定員：60名

会場：郷土博物館視聴覚室

【展示解説】

各会場で、展示解説を行います。

日時：5月8日(日)、5月28日(土)

各回ともに午後2時～午後3時

会場：杉並区立郷土博物館(大宮1-20-8)

杉並区立郷土博物館分館(天沼3-23-1)

事前申込制

◆申込方法は、広報すぎなみ4月11日号、博物館ホームページをご覧ください。

【荻外荘限定公開】

建物内の一部を公開(解説有)

日時：第1回 5月14日(土)

第2回 5月21日(土)

定員：各回200名

(定員を超えた場合は抽選となります。)

会場：荻外荘(荻窪2-1-43)

(当日は荻外荘と郷土博物館をつなぐシャトルバスを運行します。乗車定員に限りがあります。)

杉並区荻窪の閑静な住宅街にある「荻外荘」は、政治家・近衛文麿が、昭和12(1937)年の第一次近衛内閣期から昭和20(1945)年12月の自決に至る期間を過ごし、その間、総理大臣を三度務め、昭和戦前期の政治の転換点となる重要な会議を数多く行った場所です。第二次内閣組閣直前の昭和15(1940)年7月に行われた「荻窪会談」では、ドイツ・イタリアとの連携強化をはじめとした第二次内閣の政治方針が話し合われました。また、昭和16(1941)年には、日米開戦を回避すべく「荻外荘会談」がもたれました。日本政治史上、重要な場所である「荻外荘」は、このたび、国の史跡指定を受けることとなりました。

国の史跡指定を記念して開催する本展では、近衛家伝襲の資料を保存管理する陽明文庫の協力により、これまで非公開であった多数の資料を展示し、昭和史の政治の舞台となった「荻外荘」と、近衛家の人々の暮らしを紹介します。



▲「荻窪会談」荻外荘にて 共同通信社提供

郷土博物館



▲近衛文麿「黙」書幅 陽明文庫蔵



▲西園寺公望「荻外荘」書幅 陽明文庫蔵



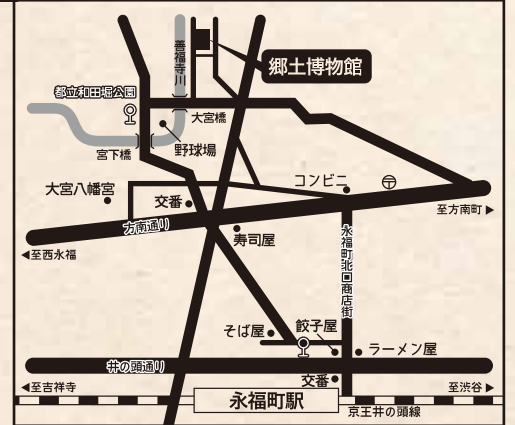
▲近衛文麿肖像画 当館蔵



▲勲一等旭日大綬章 陽明文庫蔵

主な展示資料

- 矢部貞治日記
矢部家所蔵・憲政記念館保管
- 岡西順二郎日記
個人蔵
- 近衛文麿「遺書」
陽明文庫蔵



〒168-0061 杉並区大宮1丁目20番8号
Tel: 03-3317-0841

アクセス

京王井の頭線「永福町」駅：北口から徒歩15分又は「高円寺駅」行きバスで「都立和田堀公園」下車徒歩5分 / JR中央線「高円寺」駅・東京メトロ丸ノ内線「新高円寺」駅：「永福町」行きバスで「都立和田堀公園」下車徒歩5分

※駐車場はありません。近隣の有料駐車場から徒歩2分です。

観覧料：100円(中学生以下無料)
(20名以上の団体は1名80円)

郷土博物館分館



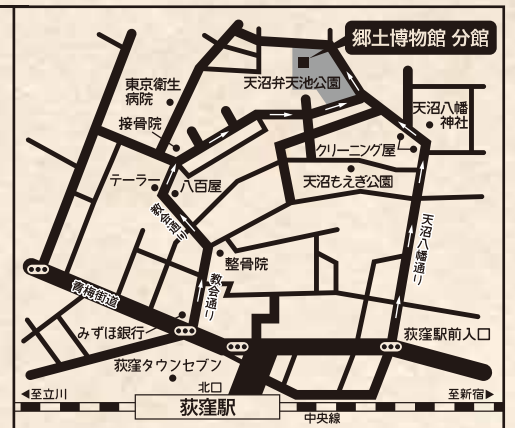
▲陶製の屋外用テーブルと椅子のセット 当館蔵



文麿の妻、千代子が着用した礼服
うちき ひとえ ▲桂・単 陽明文庫蔵 ▲履・檜扇 当館蔵

主な展示資料

- 近衛家家族写真 陽明文庫蔵
- 近衛文麿書簡(妻千代子宛) 陽明文庫蔵
- 近衛家ゴルフ関連資料 当館・陽明文庫蔵



〒167-0032 杉並区天沼3丁目23番1号
Tel: 03-5347-9801

アクセス

JR・東京メトロ丸ノ内線「荻窪」駅北口から徒歩10分
※お車でのご来館はご遠慮ください。

観覧料：無料

開館時間：両館ともに午前9時～午後5時 / 休館日：両館ともに毎週月曜日・5月19日(木)